

事後評価結果

課題管理番号 : 17ek0109128h0003
研究開発課題名 : エビデンス創出を目指した慢性特発性偽性腸閉塞症の新規診断・治療法の研究
研究代表機関名 : 横浜市立大学
研究開発代表者名 : 中島淳

評価委員会のコメント :

○評価できる点、推進すべき点、研究事業にとって必要である理由

新規の診断方法と治療法の可能性を見出すことができた。

診断法については、試験デザインの変更はあったものの必要なデータ集積ができたようである。ただし、報告書に詳細が記載されておらず、十分な評価が難しい。

計画通り研究が完了しており、論文・学会発表が実施されている点。

○疑問点、改善すべき点、その他助言等

PEG-Jの有効性臨床試験では、有効性を前向きに検証したと記載されているが、論文ではパイロットスタディと表現されており、検証とは言えない。また、小項目3小腸瘻等との比較試験の達成率は100%となっているが、比較の結果の記載がない。

達成率100%が多いが、実際には進捗が悪いと思われる。

PEG-Jについては、例数が少なく評価が難しい。今後、データを積み重ねていく必要がある。

以上